

## -模擬店企画のみなさまへ-

今年で京都大学11月祭も53回目を迎えました。自由な学風のもと学生の個性を生かす京都大学の学園祭は関西最大級です。しかし規模が大きい分、環境への悪影響も大きく、1990年代から問題視されてきました。その頃からわたしたち11月祭環境対策委員会は、環境に配慮した学園祭を目指すべく活動してきました。

最も懸念される悪影響は大量のごみです。昨年度11月祭で排出されたごみの総量は11トンに上ります。ごみの大部分は使い捨ての発泡スチロール食品容器や割りばし、調理くずなどの模擬店に由来するものでした。ごみを減らすためには模擬店の皆さんの協力が必要です。具体的には、ひとつずつ適切に分別することによってリサイクル可能になり、模擬店を効率的に運営することによって排出量を減らすことができます。また、11月祭期間中模擬店企画のみなさまには環境対策のための作業を行っていただきます。強制されているから仕方なく作業をするのではなく、11月祭が与える環境負荷を他人事ではなく自分の事として捉え、自発的に環境問題に取り組んでいただければ幸いです。

11月祭の参加者全員に環境に配慮する責任があります。皆で協力して少しでも環境に負担が少ない11月祭を創り上げていきましょう。

2011年度11月祭環境対策委員会

代表 馬場翔子

模擬店企画のみなさまへ	1
みなさまに行っていただく作業	2
作業①模擬店でのごみ分別	3
作業②会場内ごみ箱の管理	6
担当ごみ箱一覧	7
ごみ箱ステーション配置地図	8
作業③リサイクル作業	9
雨天時の作業変更について	11
過去の模擬店データ集	12
環境に優しい模擬店のススメ	17